

学校給食費の無償化・自治体独自補助

(2024年愛知自治体キャラバンまとめ)

- ①完全無償化は、豊田市・みよし市が新たに加わり、安城市・飛島村・豊根村と合わせ5市町村(9%) (◎印)。
- ②半額補助を実施しているのは豊橋市・津島市・大口町・設楽町・東栄町。
- ③中学生を無償化しているのは、大府市と、新たに愛西市が加わる。
- ④小1・小6・中3と第3子以降全員を無償化したのが犬山市。
- ⑤第3子以降全員無償は犬山市(再掲)と小牧市。条件付きの第3子無償化が常滑市・岩倉市・扶桑町・美浜町。
- ⑥食材料費高騰分を単費で公費負担し今後も引き続き実施としている市町村が増加。豊明市は100円以上を補助。
- ⑦なんらかの補助をおこなっている自治体は前年から7市町増加し31市町村(57%)に拡大。

市町村名		学校給食費の市町村独自補助・減免措置	
		実施	実施内容
合計		31	—
1	名古屋市		
2	豊橋市	○	半額補助
3	岡崎市	○	4月分を無償化。1食あたり小学校13円、中学校14円(2014年4月の消費税増税分、2019年学校給食摂取基準変更による増加分)を公費負担
4	一宮市		
5	瀬戸市		
6	半田市		
7	春日井市		
8	豊川市	○	1食あたり小学校35円、中学校40円(食材費の高騰分)を公費負担
9	津島市	○	半額補助
10	碧南市	○	1食あたり小学校32.9円、中学校44.9円(給食費以上の賄材料費分)を公費負担
11	刈谷市		
12	豊田市	◎	2024年4月から市立学校に通う小中学生の学校給食費を無償化
13	安城市	◎	2023年9月から小中学校給食費を無償化
14	西尾市		
15	蒲郡市	○	1食あたり25円(給食費改定分)を市費補助
16	犬山市	○	第3子以降及び、小学校1年生・6年生・中学3年生を無償化
17	常滑市	○	中学生以下第3子以降を無償化
18	江南市		
19	小牧市	○	第3子以降を無償化、2人以上子どものいる家庭の第2子中学生を無償化
20	稲沢市		
21	新城市		
22	東海市		
23	大府市	○	2024年1月から全中学生を無償化、小学校は公費負担額の増額(1食あたり19円→30円へ増額)
24	知多市		
25	知立市		
26	尾張旭市		
27	高浜市		
28	岩倉市	○	小学校就学後から18歳年度末までの第3子以降を無償化
29	豊明市	○	1食あたり小学校100円、中学校110円の補助
30	日進市	○	地産地消補助3円、2025年4月から定額制導入により給食基準日数を減らし保護者の負担軽減
31	田原市	○	1食あたり小学校20円、中学校40円を補助
32	愛西市	○	2024年4月から中学生を無償化、小学生は引き続き1食あたり10円を補助
33	清須市		
34	北名古屋市		
35	弥富市		
36	みよし市	◎	2024年1月から小中学校給食費を無償化
37	あま市	○	1食あたり10円を公費負担
38	長久手市	○	市負担1食あたり20円+地産地消推進市負担1円(保護者負担額と別途)
39	東郷町	○	2019年10月から1食あたり20円値上げし、その20円分を公費負担 2020年4月から給食費の定額制を導入し実食数計算の給食費と定額制の差額分を公費負担
40	豊山町		
41	大口町	○	半額補助
42	扶桑町	○	中学生以下第3子以降を無償化
43	大治町	○	1月あたり200円を補助、加えて2023年4月からは1食あたり20円を補助
44	蟹江町	○	1食あたり70円を補助
45	飛島村	◎	2023年4月から飛島学園前期課程及び後期課程において給食費の無償化を実施
46	阿久比町	○	1食あたり小学校30円、中学校40円を公費負担
47	東浦町		
48	南知多町		
49	美浜町	○	中学生以下第2子半額減免、第3子以降無償化
50	武豊町		
51	幸田町		
52	設楽町	○	半額補助
53	東栄町	○	半額補助
54	豊根村	◎	無償化を実施